

在宅ケア Now では、「在宅ケア現場の今」をレポートします。今、在宅ケアが変わり始めています！

グループホームで活用されている、見守り介護ロボット「ケアロボ」の運用事例をご紹介します！



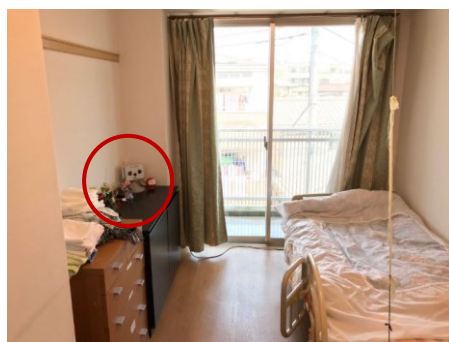
### 東京都・グループホームせらび練馬の場合

#### 【ケアロボ使用開始の状況について】

夜間の時間帯、利用者の体動が激しく、ベッドから転落することがありました。また、胸部に原因が分からないあざがあったため、利用者の夜間の生活を把握する目的で「ケアロボ」の使用を開始しました。

#### 【対策状況について】

ベッドのヘッドボードに設置した「超音波・赤外線センサー」と「ケアロボ」を連動させて利用者がベッドから起き上がろうとする動きをスタッフのスマートフォンに写真付きメールで報知するように設定・設置しました。



【ケアロボ設置全体図】

※「ケアロボ」は白い壁紙の色に馴染むようにカバーを外して設置



【ケアロボ設置場所／棚の上】



【超音波・赤外線センサー設置場所】

※ヘッドボード・利用者の動きに合わせて端に設置

#### 【対策の効果】

今まで知らなかった夜間の利用者の動きが、スタッフのスマートフォンに届く写真で分かるようになりました。夜間 0 時から 3 時の間は 1 時間ごとに起き、電気を点けて不安定な動作でポータブルトイレに座る動作をしており、その利用者の動きが転倒・転落事故の原因になっていたことが分かりました。該当する時間帯に重点的にラウンドすることにしてからは事故がなくなりました。

別の側面で、利用者の行動パターンを把握できて介護計画の変更による実介護時間の短縮や、センサーで見守りができることによる精神的負担の軽減をスタッフは実感しています。

また、事故の軽減やスタッフの対応に関して利用者ご家族からの評価も高く、スタッフは業務に充実感を感じています。

見守り介護ロボット「ケアロボ」と「各種センサー」の組み合わせは HP をご覧ください。 <http://www.technosjapan.jp/product/tascal/#anchor01>